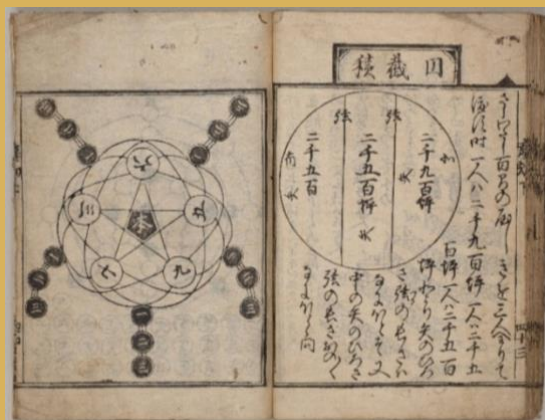


『塵劫記』刊行 400 年記念第 5 回シンポジウム

主催 日本数学史学会

寛永 4 年（1627）に刊行した吉田光由の『塵劫記』は市井でたちまち評判になったようで、寛永 12 年頃には書肆版の『塵劫記』も出回るようになった。さらに、算盤の運算の早さをもって算術の達人（「勘者」）を称する者も現れるようになった。そこで、吉田光由はそれら算術家の実力を見極めるために解答のない問題 12 問を出題し、勘者を自負する者はそれらの解答を出版して世に示せ、と宣言した。これが「好み（遺題）」の始まりとなり、近世日本数学発展の原動力の一つになった。

今回は『算法勝負！』で著名な山根誠司氏をお招きして、『塵劫記』の遺題が日本数学史の発展に及ぼした役割や算額問題の学校教育への有用性などをお話して戴くことにしました。和算と歴史、和算と数学教育に関連する話題が満載です。是非、ご参加下さい（参加費：会員・非会員とも無料）！



寛永 18 年版『新篇塵劫記』の遺題
(筑波大学付属図書館蔵：請求記号コ 200-60)

開催日：2026 年 10 月 11 日(日)

▶ 基調講演

13:30～14:50 講師：作家・科学ライター 山根 誠司

演題：『塵劫記』の遺題の活用法について

▶ シンポジウム

15:00～15:30 テーマ：『塵劫記』と数学教育

パネリスト：作家・科学ライター

山根 誠司

四日市大学関孝和数学研究所研究員

中井 保行

コーディネーター：日本数学史学会副会長

張替 俊夫

- ・会場：京都橘大学(京都市山科区大宅山田町 34)の啓成館 G102 教室（予定）。

リモート（Zoom）による視聴も可能です。大学構内に駐車場はありません。

- ・申し込み：直接会場へお越し下さい。Zoom 視聴の場合は日本数学史学会の HP (<https://suugakushi.com/>) のフォーム（9 月開設）から申し込んでください。

- ・後援：京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会

日本数学教育学会 全国数学教育学会 数学教育協議会 日本数学会

日本科学史学会 日本珠算協会 全国珠算学校連盟 全国珠算教育連盟 日本珠算連盟

全国珠算連盟 吉田光由悠久会 四日市大学関孝和数学研究所 各地区和算研究会

和算問題教材化研究会 京都の寺院（小倉山二尊院）（以上 予定：8 月時点）